

# 2023年卒就職活動の振り返り(学生)



学生の進路決定状況や、活動プロセスごとの行動量、活動時期は？

## 第1志望群に入社する学生が6割を超える

ここからは、2023年卒学生の就職活動を振り返る。民間企業等を対象に就職活動を行った学生のうち、2022年11月時点で民間・民間以外を問わず就職先が確定している学生は87.6% (グラフ①)。2022年卒(86.9%)と同水準だった。そのうち、「民間企業に就職する」ことが確定したのは81.3%で、こちらも前年(81.0%)と同水準だった。

1社以上内定を取得した学生の平均取得社数は2.52社(データ③)。前年(2.46社)から微増した。

就職先が確定している学生のうち、「当初からの第1志望群」に入社予定の学生は61.5%で、前年(55.8%)から5.7ポイント増加(グラフ②)。聴取を開始した2015年卒以降で最高値だった。なお、入社予定の企業に就職することへの納得度については、納得していることに「当てはまる」「どちらか」という当てはまるの合計が72.4%で前年(73.2%)

%)並みであったが、2021年卒(77.8%)と比べると5ポイントほど低かった(グラフ④)。

就職活動を終了した学生に終了した理由を聞いたところ、「内定を取得した企業・各種団体等に入社したいと思ったから」が89.0%で最も高い(グラフ⑤)。一方、「できるだけ早く内定を取得し、就職活動をやめたかったから」という学生が30.5%だった。実質就職活動期間の平均がコロナ禍前の2020年卒に比べて約2カ月長くなっていることや(P8・データ③)、卒業年次前年9月以前に就職活動を開始した学生が59.7%に上り(P8・本文)、かつ、それらの学生の入社予定企業の内定取得時期のピークが卒業年次の4~6月となっていることなどから(P8・表②)、活動期間の長期化とそれに伴う学生の負担の大きさがうかがえる。

## 一部の選考プロセスで対面回帰の兆候

学生の就職活動の各プロセスの実施率・実施数を見ると、

2022年卒からの実施率の増加が最も大きかったのは「合同説明会・セミナー(Web)」で、前年差+9.2ポイントの59.0%であった(表⑥)。「合同説明会・セミナー(対面)」については前年差-2.1ポイントの30.5%で、合同説明会・セミナーはオンライン参加が主たる参加方法になってきていることがうかがえる。

他方で、コロナ禍で実施率が低下していた「個別企業・各種団体等の説明会・セミナー(対面)」「面接選考(対面)」について、前者は36.9%(前年差+8.0ポイント)、後者は53.9%(同+5.0ポイント)と増加。どちらも、コロナ禍前の2020年卒(前者34.5%、後者54.8%)並みの実施率に戻った。選考プロセスの一部が対面回帰していることがうかがえる。

平均実施数は、「プレエントリー」(同+1.24社)、「社会人の先輩を訪問(社数)」(同+0.04社)など3項目は上昇したが、12項目は減少した。



## 対面と感じた「人の良さ」が入社の決め手に

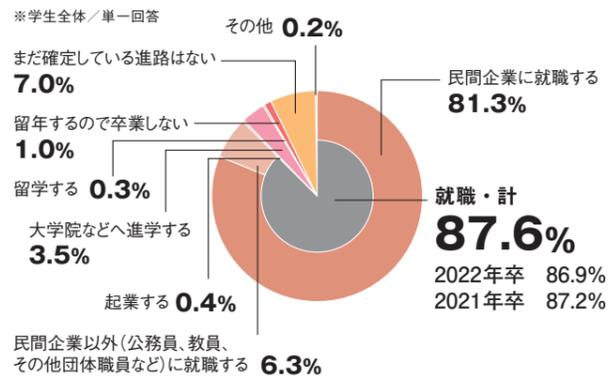
●小売業内定・農学部4年

学部の先輩や同期の多くが食品メーカーを受けていたので、なんとなく食品メーカーから情報収集を始めました。3年夏のインターンシップは準備不足のために約10社の選考全てに落ちましたが、冬のインターンシップには4社ほど参加。仕事の詳細を知ったことで、業界への志望度がぐっと上がりました。特に原料調達の仕事に大学での学びに通ずるものを感じたこと、また、残業が少ない企業が多いことなどがひかれた理由です。

ただ、採用選考では、応募した食品メーカー20社には全て落ち、並行して応募していた入社予定企業のみ内定しました。商品企画の仕事にひかれたことや、対面での面接選考時に人事の方の言葉から学生の全力を引き出して見極めようとしてくれていることが伝わってきていい会社だと感じたことなどから、入社を決めました。オフィスですれ違った社員のほぼ全員があいさつしてくれたのも好印象でした。対面で社員の方と会うことで、オンラインよりも距離の近さを感じたので、企業について理解を深める段階で対面の機会があるならぜひ行ってみたいと思います。

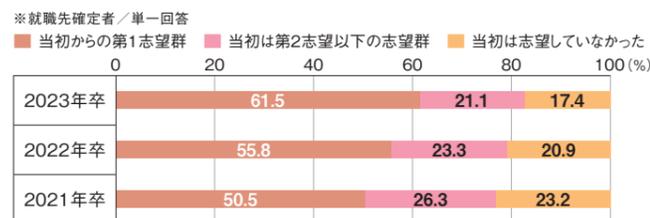
学生 87.6%が、就職先を確定

### ① 卒業後の進路確定状況(2022年11月時点)



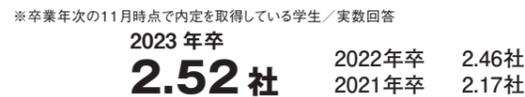
学生 約6割が、当初の第1志望群に入社予定

### ② 入社予定企業等への就職活動開始当初の志望度



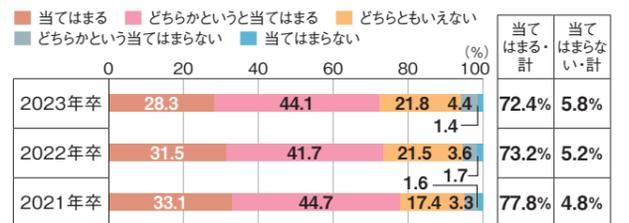
学生 平均2.52社から内定を取得

### ③ 内定を取得した企業数



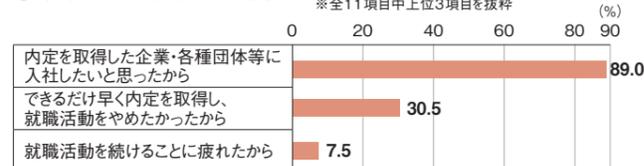
学生 約7割が、入社予定企業等への就職に納得

### ④ 入社予定企業等に就職することへの納得度



学生 約3割が、早く内定を取得して活動を終えたかったという理由で就職活動を終了

### ⑤ 就職活動を終了した理由

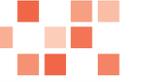


学生 個別企業等の説明会(対面)、面接選考(対面)の実施率が増加し、対面回帰の兆候

### ⑥ 就職活動プロセスごとの実施状況

※実施率：学生全体/それぞれ単一回答、平均実施数の対象：各プロセスを実施した学生/実数回答  
※( )内の数値は2023年卒と2022年卒との差(ポイント)

プロセス	実施率 (%)		平均数 (実施者ベース)			
	2023年卒 / 2022年卒	n=1618 / n=2868	① 2023年卒	② 2022年卒	① - ②	
就職に関する情報を収集する	77.8	(-5.8)				
OB・OGなど社会人の先輩を訪問する	15.5	(0.0)	n=248 3.17社 4.14人	n=444 3.13社 4.28人	0.04社 -0.14人	
リクレーターと接触する	18.0	(-1.0)	n=290 2.73社 3.20人	n=544 4.05社 5.37人	-1.32社 -2.17人	
プレエントリー(企業・各種団体等への個人情報提供)をする	39.2	(-7.2)	n=628 30.98社	n=1330 29.74社	1.24社	
合同説明会・セミナー	対面で開催されるものに参加する	30.5	(-2.1)	n=492 3.98回	n=935 5.54回	-1.56回
	Webで開催されるものに参加する	59.0	(9.2)	n=949 8.00回	n=1428 11.20回	-3.20回
個別企業・各種団体等の説明会・セミナー	対面(社内、会場など)で開催されるものに参加する	36.9	(8.0)	n=595 5.37社	n=828 6.28社	-0.91社
	Webで開催されるものに参加する	40.9	(-2.0)	n=661 14.75社	n=1230 16.43社	-1.68社
エントリーシートなどの書類を提出する	60.7	(3.1)	n=975 16.02社	n=1652 17.33社	-1.31社	
選考のための動画を提出する	25.4	(2.4)	n=409 4.10社	n=658 5.95社	-1.85社	
適性検査・筆記試験を受ける	59.0	(5.3)	n=952 10.39社	n=1540 11.30社	-0.91社	
面接選考	対面での面接選考を受ける	53.9	(5.0)	n=870 4.64社	n=1403 4.70社	-0.06社
	Web上での面接選考を受ける	53.9	(-0.4)	n=870 9.09社	n=1559 9.10社	-0.01社
内々定・内定を取得する	86.6	(1.5)	n=1401 2.52社	n=2441 2.46社	0.06社	



活動開始時期は前倒し傾向

次に、活動時期・期間について見る。就職活動を終了した学生に就職活動の開始時期を聞いたところ、2022年卒から大きく増加したのが、「卒業年次前年6月以前」で42.4% (グラフ①)。前年(27.0%)に比べて15.4ポイント高い。また、卒業年次前年9月までの累計は59.7%で、前年(44.0%)から15ポイント以上増加。2021年卒以降続いている、活動開始時期の前倒し傾向が続いている。

就職先が確定した学生に入社予定先からの内定取得時期を聞いたところ、「卒業年次6月」が18.3%で最も高かった(表②)。就職活動開始時期別に見ると、「卒業年次前年9月以前」に開始した学生は4月が18.1%と最も高く、「卒業年次6月」は17.6%であった。他方で、「卒業年次前年10月～2月」「卒業年次前年3月以降」に開始した学生は「卒業年次6月」が最も高く、それぞれ23.5%、19.4%であった。

実質就職活動期間の平均は8.36カ月で、前年(7.55カ月)に比べると約0.8カ月長く、コロナ禍前の2020年卒(6.38カ月)に比べると、約2カ月長い(データ③)。なお、インターンシップ・1day仕事体験の参加経験別に見ると、参加経験のある学生は9.11カ月と前年(8.33カ月)より長い一方、参加経験のない学生は5.75カ月で、前年(6.16カ月)よりも短かった。さらに、実質就職活動期間の分布を見ると、「1～3カ月」「4～6カ月」の合計である「6カ月以内・計」(以下、「6カ月以内」)の学生は44.7%だが、インターンシップ・1day仕事体験の参加経験別に見ると、参加経験のある学生で6カ月以内は36.5%、参加経験のない学生で6カ月以内は73.5%だった。参加経験のある学生で最も多い実質就職活動期間は「10～12カ月」で31.9%であった。

全体として早期化・長期化の傾向にあるが、特にインターンシップ・1day仕事体験に参加した学生の活動期間が長期化していることがうかがえる。

理想の就職活動期間は「6カ月以内」が約6割

学生は、どのくらいの期間での就職活動を理想としているだろうか。学生の回答を集計すると、6カ月以内とする学生が57.5%であった(グラフ④)。3カ月単位で分布を見ると、最も多かったのは「4～6カ月」で34.8%。「10～12カ月」(27.2%)、「1～3カ月」(22.7%)の順で続いた。

また、理想の就職活動期間(以下、「理想の活動期間」と実質就職活動期間(以下、「実際の活動期間」)の平均値を見ると、前者は7.37カ月、後者は8.36カ月と、理想の活動期間の方が実際の活動期間よりも約1カ月短かった(グラフ⑤)。理想の活動期間別に実際の活動期間の平均値を見ると、理想の活動期間が9カ月以下の学生においては「理想」の方が「実際」よりも短く、理想の活動期間が10カ月以上の学生においては、「理想」の方が「実際」よりも長い傾向にあった。

活動期間は1年弱。長く感じた

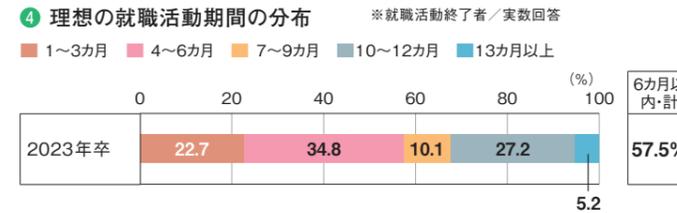
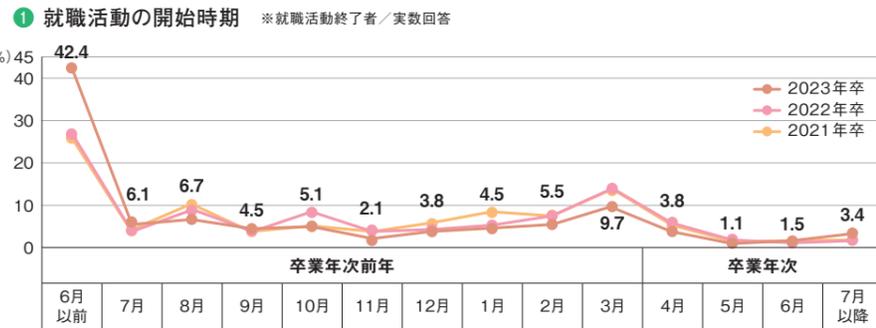
● 広告会社内定・文学部4年  
 出版社志望でしたが、他業種についても知るために、夏と冬で合計40社弱の1日など短期間のインターンシップに参加。3年生の1月からは、早期選考に参加しながら、インターンシップや説明会への参加、自己分析、適性検査対策なども進めました。説明会の時間が重なったときは、オンラインで同時視聴したこともあります。2月に内定したことは、安心材料になりました。  
 3月からは出版社を中心に25社ほどに応募し、4月から面接に参加。しかし、なかなか受からず、6月に内定したのが入社予定企業です。自分のやりたいことを実現するための具体的なプランが思い浮かんだことなどから、入社を決めました。  
 1年弱の活動期間は、だいぶ長く感じましたね。特に、4年生の4～5月は思うように選考が進まず、志望度の高かった新聞社の選考に落ちて心が折れ、早く終わりたいという気持ちも出てきて焦りが大きかったです。インターンシップや説明会を通じて多くの企業とつながりを持てたのは良かったですが、応募企業はもう少し絞って、一社一社に注力できれば良かったと思います。



学生 42.4%が、卒業年次前年の6月以前に活動を開始

学生 実質就職活動期間は平均8.36カ月

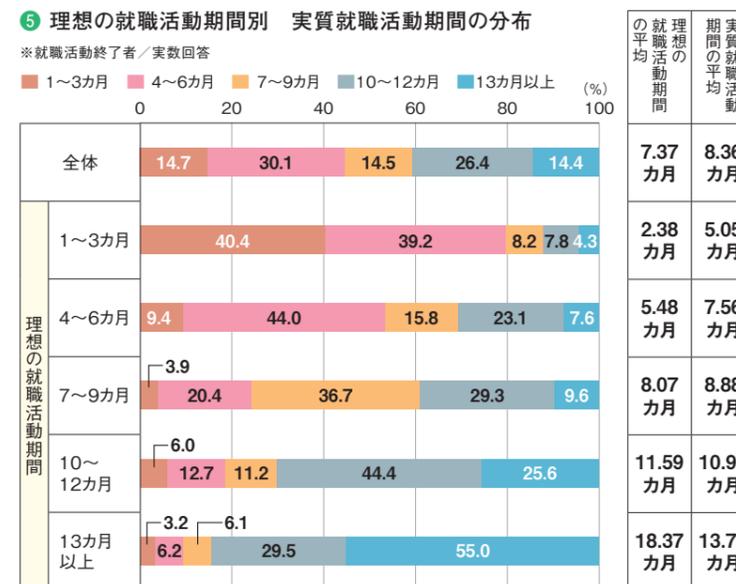
学生 理想の活動期間を「6カ月以内」とする学生が57.5%



学生 入社予定先からの内定取得時期は6月がピークだが、卒業年次前年9月以前に活動を開始した学生は、4月が最多

② 就職活動開始時期別 入社予定企業等からの内定取得時期 ※学生全体: 就職先確定者のうち内定取得者/実数回答、就職活動開始時期: 就職先確定者のうち内定取得者かつ就職活動終了者/実数回答

	n	卒業年次前年														2月までの累計	5月までの累計	
		9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降			
全体	1342	7.3	0.9	0.6	0.6	1.1	3.2	7.7	14.3	13.5	18.3	8.5	9.1	6.0	8.9	13.7	49.2	
就職活動開始時期別	卒業年次前年9月以前	717	9.9	0.7	0.6	1.0	2.1	4.4	10.5	18.1	14.1	17.6	6.4	6.4	4.3	4.1	18.7	61.4
	卒業年次前年10月～2月	259	2.5	0.0	0.2	0.5	0.0	2.3	7.1	17.4	16.8	23.5	8.5	9.9	4.6	6.7	5.5	46.8
	卒業年次前年3月以降	221	4.9	0.4	0.9	0.0	0.0	1.3	1.8	4.9	12.3	19.4	15.3	16.0	10.0	13.1	7.5	26.5



理想の就職活動期間の理由

<理想: 3カ月>  
 ● 2～3月に準備を始めて4～5月に終わるのが一番気持ち的にもダメージが少なくすみそうだから。(大学生/理系/17カ月)

<理想: 6カ月>  
 ● 理系の院生のため就職活動と研究活動の両方が難しいため。(大学院生/理系/12カ月)

<理想: 8カ月>  
 ● 早期から就職活動を始めていたが、途中2カ月ほど力尽きてしまい、やる気が起きずにダラダラと活動していた時期があったから。(大学生/文系/10カ月)

<理想: 10カ月>  
 ● 選考ありのインターンに行って経験を積んだり、自己分析や将来に対する考えをしっかりとめて後悔しない就職活動にするにはそれくらいの期間が必要だと考えた。(大学生/文系/4カ月)

<理想: 12カ月>  
 ● あまり短すぎても自分に合った企業を見極められないような感じもするし、1年以上就職活動をしていてもモチベーションが無くなってしまいうさだから。(大学生/文系/6カ月)

<理想: 18カ月>  
 ● 自己分析や業界研究をしっかりと行うためにはこのくらい必要だと考えたから。(大学生/理系/10カ月)

<理想: 24カ月>  
 ● 時間をかけて、本当に自分のやりたい仕事を探し、企業研究やインターンシップに参加して、世の中の状況を知っておきたかったから。(大学生/文系/15カ月)

※ ( )内の月数は、実質就職活動期間を表す